

平成 2 3 年度学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	7 6	学校名	茨城県立岩瀬高等学校				課程	全日制			学校長名	枝川 久				
教頭名	石川 格		時野谷栄治							事務室長名	秋山公男					
教職員数	教諭	4 2	養護教諭	1	常勤講師	4	非常勤講師	5 4	実習教諭, 実習講師, 実習助手	5	事務職員	4	技術職員等	3	計	1 1 7
生徒数	小学科	1 年		2 年		3 年		4 年		合計		合計クラス数				
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
	普通科	5 5	1 0 7	5 8	9 9	6 2	8 3			1 7 5	2 8 9	1 2				
	衛生看護科	3	3 7	0	4 0	1	3 9			4	1 1 6	3				
専攻科	3	4 1	1	1 7					4	5 8	2					

2 目指す学校像

社会人として求められる確かな学力・生活習慣・豊かな人間性を身に付けた人材の育成に努める学校
看護に関する知識・技術及び豊かな教養・情操を身に付けた看護職者を育成する学校

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現状分析	課題
学習指導	学校の授業を大切に考える生徒は多いが、主体性に乏しく、家庭での学習が習慣化されていない生徒が多く見られる。	指導方法を工夫・改善して分かる授業を展開し、基礎学力の定着を図るとともに、学習意欲の向上を図る。
進路指導	目標を定め努力する生徒が少ない傾向にある。また、大学・短大・専門学校・就職と、進路希望が多岐にわたる。	望ましい職業観・勤労観を養い、進路意識を高める指導を実践するとともに、個に応じた指導の充実を図る。
生徒指導	全体的に落ち着いているが、一部に基本的な生活習慣の身に付いていない生徒、頭髪服装や公共マナー等に対する意識の不十分な生徒が見られる。	規範意識の高揚と、基本的な生活習慣を身に付けるための指導の更なる充実を図る。
特別活動	学校行事には参加するが、自発的・積極的な活動が少ない。また、部活動への加入率も低い。	生徒の自発的な活動を促し、学校行事への参加意欲を高めるとともに、魅力ある部活動の在り方を探る。
衛生看護科	病院実習等を通し現実的な看護職を知り、入学時に抱いていた憧れの看護師観、看護師への希望が揺らぐ生徒が見られる。	看護師としての職業意識・使命感の育成に努め、看護職への意欲を高める。それとともに病院実習等において個々の生徒に応じた指導を行う。
専攻科	看護師国家試験の合格率は 92.9 % (28 名中 26 名合格) で、昨年度より向上した。	看護師国家試験全員合格を目指し、教科指導・実習指導・国家試験対策の充実を図る。

4 中期的目標

- 1 豊かな人間性を培う。
- 2 基礎学力を定着させるとともに，学習意欲の向上を図る。
- 3 規範意識の高揚と基本的生活習慣の確立を図る。
- 4 部活動や特別活動の活性化により，心身ともに健康な生徒を育成する。
- 5 望ましい職業観・勤労観の育成を図り，生徒一人ひとりの進路希望の実現を目指す。
- 6 5年一貫看護教育の円滑な展開を図り，地域医療の担い手となる看護職者の養成に努める。
- 7 開かれた学校づくりを進め，保護者や地域社会との信頼関係を構築する。

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
豊かな人間性の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・「道徳」の授業や学校行事等を通して，規範意識や豊かな人間性を培う。 ・「朝の読書」を実施し，豊かな人間性を培う。 ・看護師としての使命感を育てる。
学習意欲の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時間の確保に努めるとともに，学習指導方法を工夫・改善し，分かる授業を実践する。 ・シラバスを活用して学習の目的意識を醸成し，授業や家庭学習に自ら取り組む意欲を育てる。 ・少人数授業・課外指導等，学習効果を高める取り組みを推進する。
基本的生活習慣の確立と生徒指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員の共通理解・実践のもと，端正な身なり・明るい挨拶・時間厳守の習慣を身に付けさせる。
部活動・特別活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事やホームルーム活動・生徒会活動を通して，協力する心や責任感を育む。 ・部活動への加入率を上げ，活性化を図る。
キャリア教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「進路の手引き」等を活用し，生徒一人ひとりのキャリアプランニング能力を高める。 ・適切な進路情報を提供し，生徒のよりよい進路選択に資する。 ・進路指導部と学年との連携を強化し，課外・小論文・模擬面接指導等の個に応じた指導の充実を図り，進路の実現を目指す。
看護教育の充実 ・5年一貫看護師養成教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・5年一貫を見通した教育活動を展開し，看護に関する知識・技術の習得を図る。 ・教科指導・実習指導を通して，看護職への自覚を高めるとともに，看護師としての職業観の育成に努める。 ・病院・施設の指導者と連携を深め，効果的な実習指導の展開を図る。 ・国家試験の受験対策について，衛生看護科・専攻科の一元的な指導体制を構築する。
開かれた学校づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の情報を積極的に広報するとともに，保護者や地域社会・看護教育機関等からの要望や提言を集約・検討する等，開かれた学校づくりを推進し，保護者や地域社会との信頼関係を構築する。
創立50周年記念事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度に迎える学校創立50周年に向けて，実行委員会を立ち上げ記念事業の内容を検討する。